

2026年（令和8年）

壬生川公民館だより 9月

壬生川地区人口 6月末現在
(前月比)
男 性 2,184人 (+2)
女 性 2,296人 (±0)
(合計) 4,480人 (+2)
世帯数 2,253戸 (+2)

〒799-1341 西条市壬生川 200 番地
TEL・FAX 0898-64-2202
E-mail nyugawa-k@saijo-city.jp

カラー版は市のホームページ
に掲載しています。こちらから →



健康麻雀教室

みんなで楽しく、
頭も心も元気に！



初めての方も
経験者も
大歓迎♪

笑顔と交流が広がる健康麻雀教室

7月13日、14日、16日の3日間にわたり、健康麻雀教室を開催しました。各日とも定員いっぱいの32名が参加し、3日間で延べ93名の参加がありました。

この教室は、楽しみながら脳を使い、健康づくりにつなげることを目的に企画したものです。また、講師を務めていただいた越智光彦さんの「一人暮らしの高齢者が家に閉じこもらず、仲間との交流を楽しんでほしい」との思いも、教室開催のきっかけとなりました。

募集開始後すぐに定員に達し、キャンセル待ちが出るほどの人気となりました。健康麻雀教室は7月27日以降も毎週月曜日・火曜日・木曜日に継続して開催しており、多くの皆さんが仲間との交流を楽しみながら健康づくりに取り組んでいます。

【9月のごみ収集日】 きちんと分別し、当日の朝8時までに決められた場所へ

◆古 紙（新聞紙・ダンボール・雑誌・雑がみ）・・・ 2日（第1水曜日）

米袋は、50cm以下に切り、燃えるごみの日にお出ください。

◆ガラスびん・ペットボトル・スプレー缶・カセット式ガスボンベ・・・ 9日（第2水曜日）

9月の主な行事予定

日	曜	行 事
5	土	休館日 放課後子ども教室（運動）壬生川小学校
6	日	休館日
12	土	休館日・放課後子ども教室（太鼓）
13	日	休館日
16	水	高齢者カフェ「壬生川カフェ」10:30～
19	土	休館日・放課後子ども教室（工作）
20	日	休館日
21	月	休館日 敬老の日
22	火	休刊日 国民の休日
23	水	休館日 秋分の日
24	木	第2回公民館協力委員会 19:00～
26	土	休館日 放課後子ども教室（AGOであそぼ）
27	日	休館日
29	火	壬生川公民館文化祭打合せ会 10:00～

通学路の安全を願って

壬生川小学校の児童・生徒の安全確保に取り組む壬生川小学校安全ボランティアが、壬生川地区健全育成協議会などと連携し、9月に実施する交通安全啓発活動で使用する「30km/h 啓発うちわ」の制作を、7月31日に行いました。当日は、地域の安全活動に携わる関係団体の皆さんが集まり、一枚一枚丁寧にうちわを作成しました。9月1日から30日までの期間、通学路となっている生活道路において、ドライバーへ安全運転を呼びかける啓発活動を実施します。地域ぐるみで交通安全意識の向上を図り、子どもたちが安心して通学できる環境づくりに努めていきます。



講座・教室のご案内

夏休みお楽しみ教室

8月12日、「夏休みお楽しみ教室」を開催しました。盆踊りの練習には子ども27人、大人22人が参加し、「龍馬踊り」「アンパンマン音頭」「壬生川音頭」「炭坑節」を楽しく踊りました。練習後は子どもたちを対象に、紙コップ積みやじゃんけん列車、お菓子釣りゲームを実施し、会場は子どもたちの笑顔と歓声であふれていました。



毎月第3水曜日は『壬生川カフェ』に！

地域のどなたでもお気軽に立ち寄り話合いができるつどいの場「壬生川カフェ（高齢者カフェ）」を開催しています。予約の必要はありません。お気軽にお越しください。

日 時： 9月16日（水）
10時30分～11時30分

場 所： 壬生川公民館 1階 学習室 3他

持参物： 水分補給用の飲み物

内 容： 身体・指先を使うレクリエーションや脳トレ等

問合せ： 西条市地域包括支援センター東予
TEL 66-5520

指を動かして脳もいきいき！



7月15日（水）のカフェでは、ドレミファソラシドの音楽に合わせて「指の体操」を行いました。音楽に合わせて楽しく指先を動かすことで脳を活性化し、参加者同士の交流も深まりました。



7月11日(土)、とうふパンづくりを行いました。子どもたちは生地をこねてパン作りに挑戦。焼き上がる香りやふくらむ様子を楽しみながら、おいしい焼きたてパンを味わいました。



7月18日(土)紙皿や割り箸、ひもを使ってデンデン太鼓を作りました。子どもたちは思い思いの絵を描き、オリジナル作品づくりに挑戦。完成後は、自分だけのデンデン太鼓を鳴らし、独自の音色を響かせていました。



Clap! Clap! Let's Dance!

7月25日(土)、英語の曲に合わせて楽しくダンスをしました。手拍子やジャンプなどの動きを取り入れながら、子どもたちはリズムに乗って元気いっぱい体を動かしました。英語の言葉や音楽に親しみながら、みんなで楽しく交流することができました。

うちわ作り

8月8日(土)のふる里づくり盆踊り大会に向けて、うちわ作りを行いました。

子どもたちは花紙や折り紙を使い、思い思いのデザインに挑戦。薄くて破れやすい花紙も、上手に扱いながら制作を進めました。

完成したうちわはどれも個性豊かで、世界に一つだけの素敵な作品となりました。



ひうち句会 (順不同)

たかなの竹となりゆく大地かな	稲井卓機
蝉死すや拝む形に足畳み	石原宏子
青田風入れてラジオのクラシック	岡部和代
涼やかな声背に受けて退院す	近藤ヤス子
風生の愛でし岩菲の朱に踞む	丸山英子
妣に似し後姿や夏祓	矢野悦子

2026年8月10日
～毎月10日は人権を考える日～

当たり前って何なの？

「当たり前」という言葉をよく聞きます。「当たり前」って、いったいどういうことなのでしょう。か。「当たり前」の反対語は、「有難し」です。「有難し」は「ありがとう」の語源です。当たり前ではなく、有ることが難しいので、感謝の心が生まれてくるのだと考えます。同じ物事でも、「当たり前」と考える人もいれば、「有難し」と考える人もいるのではないのでしょうか。「当たり前」と考える人が多いときに、「有難し」という考え方を否定されると、苦しい思いをする人が必ずいます。ある事柄について多数派に属する人々は、少数派の人のことを考えているのでしょうか。私自身のことを考えてみると、思い当たることが多々あります。

例えば、次のようなことがありました。ある会社で学習会のお願いに行った時のことです。対応してくださったのは、同年代と思われる男女お二人でした。課長さんと係長さんが対応してくださるということで、私は男性の方を課長だと思い、男性に向かってまず名刺を差し出しました。すると、その方も名刺をくださいました。見ると、係長と書いていました。「しまった」と思いながら、すぐに女性に名刺をお渡ししました。女性が課長でした。私の中のアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）です。私の心には、「女性は管理職に向かない」「管理職は女性には無理だ」といった思い込みが隠れていました。

さらには、私から見ると日本人とは見えなかった人に対して、外国人だと思って話をしていると、「日本語が上手ですね。」と言ってしまいました。その方は、「父親はフランス人だけど、自分は日本で生まれて日本で育ち、日本語の方が上手だ。」と言われました。私の心には、相手の見た目です。「日本人ではない」「母国語が日本語ではない」という思い込みがありました。

また、ある保育の研究会でのことです。若い保育士さんが実践報告をされました。とても分かりやすく、学ぶべきところがたくさんある報告だと思いました。研究協議の時、年長の先生方から、よい実践をしていると評価する意見が次々と出されました。その発言の中に、「若い先生なのに素晴らしい」という言葉が何回も出てきました。私も同じように思いました。しかし、よく考えてみると、「若い人は頼りない」という先入観が私の中にあるのではないかと思ったのです。

このようなアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）は誰にも存在するものですが、自分の中の「当たり前」はすべての人の「当たり前」と同じではないことを意識して生活していきたいものです。